

地域の課題

- ・本市では就職や進学を機に転出した多くの若者（特に女性）が戻っていない。
- ・本市の若者回復率（2015-2020）は、男性が34.5%、女性が▲7.7%となっており、男性に比べ女性は戻っていない状況がある。
- ・男性と比較して女性は、正社員として働く割合が低く、賃金も低い。また、家事・育児が女性に偏り、育休等の制度利用が女性が多い。

数値目標・KPI

宮崎市内に魅力的な企業が増え、多くの若者（特に女性）が宮崎市に戻っている。



主な取組内容

本市では、若者・女性の市外へ流出する現状を踏まえ、市内7つの経済団体と推薦企業、市役所が連携し、若者（特に女性）に選ばれるための具体的なアクションを検討・実践するため、以下の取組を実施した。

- ①若者・女性が市外流出を続けている現状を共有し、機運を醸成する「キックオフセミナー」を開催（6/27）
- ②兵庫県豊岡市を視察（7/17-7/18）
- ③実践するアクションを検討する「グループワーク」を開催（10/29、11/13、12/19）
- ④アクションを宣言する「発表セミナー」を開催（1/30）

スケジュール・予算

- ◆令和7年度予算額：5,311千円
費用弁償、普通旅費、消耗品、委託料
- ◆活用中の交付金
新しい地方経済・生活環境創生交付金
- ◆令和8年度（予定）
 - ①経営者向けの「トップセミナー」開催
 - ②先進自治体・企業の視察
 - ③参加企業のアクションを検討する「グループワーク」の開催（3回）
 - ④アクションを宣言する「発表セミナー」開催